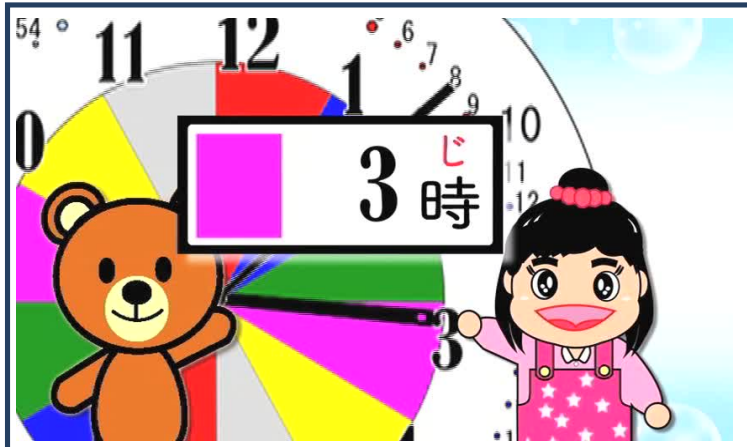


<図・写真>



<材料・製作方法等>

- ①イラストレーションソフトInkscapeでキャラクターを作成（表情や動きを変えて30枚のPNG画像に書き出す）。他の素材は時計アプリ制作時のデータを使用。
- ②職員の映像・音声を撮影(iPhone使用)
- ③映像編集ソフトFinal Cut Proで編集（職員映像はクロマキー合成）
- ④DVDオーサリングソフトDVD Studio Proでオーサリング。
- ⑤Adobe PhotoshopにてDVDレーベル用の画像を作成。
- ⑥Canon CDダイレクトプリントにてレーベルの編集と印刷。

<ねらい>

教材時計を用いた時計の読み方について復習するとともに、苦手とする事柄について、対象生徒が興味を持ちやすい形で反復練習ができるようにする。

<指導方法・留意点等>

- ① 短針の位置から数字と色（領域を示す）を手掛かりにして、何時かわかるようにする。
- ② 長針が指す小さな数字を読むことで、何分かわかるようにする。
- ③ 60までの数を数唱する。特に二桁の数唱に難しさがあるため、身近な教師と数字を関連付け、二桁の構造をイメージ化させつつ、数字と読み方を覚えるようにする。
- ④ 数字を読むだけでなく、後に続けて「時」「分」と言えるようにする。
- ⑤ 教師や職員から時刻を尋ねられ、それに答えるシチュエーション設定で、何時何分かを読み取り、答えるようにする。

<指導経過・成果・課題・展望等>

冬休み課題DVDとして視聴による病棟での学習を期待したが、冬休み明けの授業で内容理解の程度を確認しながら視聴したところ、期待した効果は得られていなかった（幾つか考えられる要因あり）。そのため、3学期の授業の中で、教材として扱っていくことにした。

撮影の様子→



←数唱の練習

時刻を尋ねられ、
答える練習→

